

## 令和3年度決算の概況

### (1) 総括事項

令和3年度においては、「岡山市下水道事業経営計画2016」に基づき、下水道事業の持続的な運営を図りながら、快適で安全なまちづくりに貢献しました。

特に浸水対策については、過去の浸水被害を踏まえ、「岡山市浸水対策の推進に関する条例」に基づき、雨水幹線やポンプ場などのハード整備を進めるとともに、事業者への開発行為等に伴う雨水流出抑制施設設置の助成、止水板設置補助制度などにより、市民、事業者と連携した総合的な浸水対策を進めています。

引き続き、平成30年7月豪雨による浸水被害の大きかった地区への重点的な浸水対策に取り組むとともに、未普及対策や耐震・長寿命化対策などについても効率的、計画的に実施します。

### ア 下水道による汚水処理の状況

事 項	令和3年度	令和2年度	増 減	対前年度比 (%)
処理区域内人口 (人)	487,235	487,869	△ 634	99.9%
水洗化戸数 (戸)	165,860	162,243	3,617	102.2%
年間有収水量 (千 $\text{m}^3$ )	53,044	53,374	△ 330	99.4%
普及率 (%) ※1	68.4	68.0	0.4	—

※1 以外は農業集落排水事業を含む。

### イ 建設改良事業

#### a 浸水対策

浸水被害の軽減を図るため、平成30年度に着手した浦安排水区の浦安11号幹線雨水管築造(第1期工事)が順調に進捗しています。さらに、今保排水区において、令和5年度供用開始に向け、今保・白石ポンプ場の建設工事を進めています。

豪雨に対する初期対応の迅速化を図るため、旭東地区等のゲートの遠隔操作化に継続的に取り組みました。

## b 未普及対策

笹ヶ瀬右岸幹線及び、庭瀬・妹尾・撫川・北方・横井上・一宮地区など旭川以西の児島湖流域下水道関連処理区などの整備や、江並・今在家・神下・東平島・南古都・土田・西大寺浜地区など旭川以東の岡東及び吉井川処理区などの整備に取り組みました。また、高松原古才・吉備津・牟佐地区の実施設計及び詳細設計を実施しました。

## c 耐震化・長寿命化対策

耐震化の取り組みとして、野殿ポンプ場、倉富ポンプ場など施設の耐震診断を実施するとともに、長寿命化対策として、旭西排水センター及び笹ヶ瀬ポンプ場、岡南ポンプ場などの改築工事を継続して進めています。

老朽化した管きよの更生工事、重要な幹線管きよの耐震診断・基本計画の策定に取り組みました。

## ウ 維持管理

処理場やポンプ場においては、日常の管理の中でコストを意識した運転や、能動的（季節別）管理運転のような下水道の付加価値を高める運転を行うとともに、点検や整備、修繕を計画的に行いました。管きよについても、計画的に点検調査を行うとともに、清掃や修繕を行いました。

## エ その他の取り組み

南海トラフ巨大地震の発生を想定した下水道BCP訓練（7回目）を令和4年1月に実施しました。訓練はロールプレイング形式で状況付与を行うことで、より実践に近い訓練となりました。下水道管や下水処理施設の現地調査訓練も行い、災害対応能力の向上に努めました。

下水道のPR活動として、下水道河川局公式 Youtube チャンネルにてPR動画を公開したり、ポスターやLINEスタンプシールを作成しました。また、「下水道のご当地マンホー

ルと市内観光をセットで楽しむ」をコンセプトに、マンホールスタンプラリーを実施しました。令和3年度は、スタンプの設置場所を2か所新設し、応募者数は大幅に増加しました。

## オ 財政状況

令和3年度の財政状況については、収益的収支では、事業収益 19,224,340 千円に対し、事業費用 19,224,340 千円で、この結果、収支差引 0 円となりました。

資本的収支では、収入額 20,106,557 千円から翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額 183,910 千円を除くと、当年度の収入が 19,922,647 千円、これに対する支出額は 27,599,703 千円であり、収支差引 7,677,056 千円の不足額は、内部留保資金などで補てんしました。

以下のグラフは下水道事業の決算状況を性質別に示したものです。

